

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 28	提案機関名 秦野市農業協同組合
要望問題名 食用桜の栽培方法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 秦野市千村は昔から食用桜の産地として有名ですが、古くからの産地のため、樹も大木となり、収穫時には木に登るか長い脚立での収穫が一般的である。近年、栽培者も高齢化し収穫にも危険が伴うため、安全で収量も従来と同程度の栽培方法について、研究をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) Ⅲ-2-(3) ジョイント栽培によるカキ、リング等の安定生産技術の開発 エ ジョイント栽培による八重桜の食用花生産技術の確立		
対応の内容等	食用桜栽培の省力化・軽労化に向けたひとつの手法として果樹栽培で開発したV字樹体ジョイントを応用し、平成27～28年に定植5～6年生樹を用いて誘引方法、摘心による側枝基部の肥大、花そう数、収量等について調査しました。現地栽培で基準となる栽培管理技術や省力化、収量等のデータがなく軽労化・収量性等についての検討は困難です。 V字樹体ジョイント栽培では、苗木を密植し、側枝の誘引・せん定等が必要となるなど、これまでの栽培形態と大きく変わり、新たな設備投資や作業が必要となります。試験で用いたサクラV字ジョイント樹形を参考に現地へ導入可能かをご検討いただき、必要であれば現地で対応いたします。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			